

通信試験に対するモニター調査要領（案）

1 調査の目的

構築する通信試験システムに関して、体験モニターからの利用評価を受けることにより観光情報支援システムを検証するための検討資料とするとともに、併せて体験モニターに対して観光地や美術館等を訪れる際に入手している観光情報等の実態把握を目的として調査を行う。

2 調査時期・対象

○調査時期

公開通信試験の日（平成20年2月8日（金）を予定）

○調査場所

- ・高速無線LANを活用したシステム（屋外用通信試験システム）
兼六園
- ・ワンセグ映像配信技術を活用したシステム（屋内用通信試験システム）
金沢能楽美術館

○調査方法等

体験モニターの方に調査票を配付し、通信試験システムを体験後、その場で回答をいただき回収する。

モニター数：20名程度

3 調査項目の検討

<基礎調査>

(1) 訪れる前に調べている観光情報等は

<調査項目>

入手内容：①由来・歴史や作品紹介、②マップ、③コース、④見どころ、⑤イベント
⑥その他（具体的に ）

入手手段：①ホームページ、②旅行雑誌、③電話や電子メールによる問い合わせ
④旅行会社のパンフレット、⑤その他（具体的に ）

(2) 訪れた観光地や美術館等で入手している観光情報等は

<調査項目>

入手内容：①由来・歴史や作品紹介、②マップ、③コース、④見どころ、⑤イベント
⑥その他（具体的に ）

入手手段：①看板、②パンフレット、③インフォメーションセンター
④人によるガイド、⑤音声装置によるガイド、⑥映像装置によるガイド
⑦その他（具体的に ）

<通信試験システムの評価>

○高速無線LANを活用したシステム（屋外用通信試験システム）

<調査項目>

(システムの有用性)

・利用の可否：①利用したい、②利用したくない
(利用したくない場合の理由：)

・利用の費用：有償の場合いくらなら利用するか
①100円、②200円、③300円、④400円、⑤500円

(システムの機能性)

・情報が得られるまでの時間：①早い、②ちょうど良い、③遅い
(遅いと回答した場合の期待する待ち時間は：)

- ・受信映像の状態：①鮮明、②よい、③悪い
 - ・受信音声の状態：①鮮明、②よい、③悪い
- (携帯端末の大きさ)
- ・どの程度のサイズがよいか：①携帯電話、②携帯型ゲーム機（大人の手の平）
③携帯パソコン（A 5 ファイル）
- (提供するコンテンツ)
- ・どのようなコンテンツがあったらよいか
- 分類Ⅰ：①由来・歴史の解説、②マップ、③コース、④みどころ、⑤イベント
⑥来場時期以外の季節情報やイベント情報
- 分類Ⅱ：①多国語によるガイド、②子供向けのガイド、③障がい者向けのガイド
- (その他)
- アイデア、要望、改善点は

○ワンセグ映像配信技術を活用したシステム（屋内用通信試験システム）

<調査項目>

(システムの有用性)

- ・利用の可否：①利用したい、②利用したくない
(利用したくない場合の理由：)
- ・ご自分のワンセグ携帯電話を利用できることについて：①よい、②悪い
(悪いと答えた理由：)

(システムの機能性)

- ・情報が得られるまでの時間：①早い、②ちょうど良い、③遅い
(遅いと回答した場合の期待する待ち時間は：)
- ・受信映像の状態：①鮮明、②よい、③悪い
- ・受信音声の状態：①鮮明、②よい、③悪い

(提供するコンテンツ)

- ・どのようなコンテンツがあったらよいか
- 分類Ⅰ：①作品紹介、②マップ、③コース、④みどころ、⑤イベント
- 分類Ⅱ：①多国語によるガイド、②子供向けのガイド、③障がい者向けのガイド

(その他)

- ・音声は携帯電話用イヤホンで聞くことを想定しているが、日頃イヤホンを持ち歩いているか：①している、②時々している、③していない
- ・アイデア、要望、改善点は